

## パラグアイ独立記念日。

弓削 比紗英

5月14、15日はパラグアイの独立記念日でした。

今から205年前の1811年、パラグアイはスペインからの独立を宣言しました。なぜ2日間あるかということ、14日に始まった革命が日をまたいで15日未明に終了したからだそうです。



さて、この独立記念日には、パラグアイ各地でセレモニーやパレードが行われます。

14日、15日と2日ある独立記念日のうち、どちらの日にもセレモニーが行われるのか、確かなデータを持っているわけではないのではっきりとは言えませんが、聞いた話では、どうやら14日にセレモニーが行われるケースが多いようです。

私の任地でも小中高生たちをメインとした記念パレードが行われました



パレードの前に、まずは教会の前でセレモニーが行われました。

国歌斉唱、国旗掲揚から始まり、神父様のありがたいお言葉や、参加学校からの歌やダンス・パラグアージャ（パラグアイの伝統的な踊り）などのお披露目もありました。

続いて、いよいよパレードの開始です。市役所を先頭にして、パレードが始まりました。

太鼓のリズムに合わせて行進を行います。

太鼓を叩くのは誰でも立候補できるようですが、国旗を持って歩くのは誰とでも、というわけにはいきません。

成績優秀者たちだけに許されることなのだそうです。

幼稚園の子供たちも一生懸命行進していました。



さて、今年のパレードは5月13日（金）に行われました。しかし、この日は独立記念日でも何でもありません。実際、例年は14日にパレードが行われています。なぜ13日に行われたのか・・・

実は開催日を巡ってひと悶着がありました。

今年の独立記念日である5月14日、15日は土曜日、日曜日にあたります。例年通りの14日に開催だと、土曜日開催、ということになりますが、実は、土曜日には働きたくない、という一派がいたそうなんです。

「休日に働きたくないから、金曜日開催しろ」という一派（主に学校関係者）と、「特別な日である独立記念日当日に開催したい」という一派（役所系）。

話し合いだけでは決着がつかず、結局は参加校、参加団体代表者による投票にゆだねられ、結果、多数決により13日の金曜日開催する、ということになりました。

しかし金曜日開催する条件として、「土曜日に振替授業を行わなければならない」という誓約書にサインすることになったようで、結局土曜日に働かきゃなきゃいけないのなら、どうして独立記念日当日に開催しないのか、私としては疑問が残るばかりです。

なにとはともあれ、晴天には恵まれませんでした。たくさんの人に声をかけられ、去年よりも知り合いが増えた、ということを実感することのできるパレードでした。

8月に帰国なので、来年はもうこのパレードを見ることはありません。こうして、ひとつずつ、来年にはもう見ることがない行事を終えていくと、帰国が迫っているのを実感すると共に、なんだか寂しい限りです。